

駒澤大学図書館所蔵の古地図について

小 田 匡 保

前 言

本稿は、駒澤大学図書館の所蔵する古地図の目録を提示しようとするものであるが、その前に、若干の注記を加えておきたい。

まず、本稿で扱う「古地図」の範囲については、原則として昭和20年以前に刊行もしくは書写された一枚物の地図・絵図とした。したがって、冊子状に綴じてあるものや地図帳の類は、表題に「絵図」とあっても除外した（ただし、折本は含めた）。また、第二次世界大戦後出された復刻版は対象外とした。その他、戦前の地質図が数十枚所蔵されていると思われるが、調査の手が及ばず、今回の目録には入れなかった。多田文男氏旧蔵の膨大な数の旧版地形図も同様である¹⁾。

目録への記載事項は、タイトル（題簽・内題など）、著者・発行所（この両者は区別できないことも多い）、発行（書写）年、刊行図か書写図かの区別、無彩か色図²⁾かの区別、大きさ（タテ×ヨコ）³⁾、請求番号⁴⁾、その他注記（収納形態・縮尺など）⁵⁾の順とした。これらの資料については、すでに本学図書館の目録カードに書誌事項が記載され、多くの資料はOPACにも入力されているが、後述するようにすべて現物にあたって確認をしたため、大きさやタイトルなど、本学図書館のデータと違うことがある⁶⁾。旧字体・異体字は、原則として現在通用の字体に直した。配列順序は、年代が不明なものもあるが、おおよそ時代の古いものから新しいものへと並べた。

目録作成は、以下のような手順で行なった。1998年2月に、小田と駒澤大学地理学科学生4名（当時3年生：秋山節子・柏柳敦子・川内由佳理、同2年生：中谷聡子）で「古地図研究会」と称する勉強会を作り、手分けして分類カード（KDC 663番台：日本地理一地図）から古地図の暫定リストを作った。その後、同年12月まで17回にわたって研究会を開き、現物確認を行なった。本目録は、その時にとったデータを小田がさらに補充してまとめたものである。なお、古地図目録を見ればわかるように、古地図の分類番号はKDC 663番台にとどまらない。それ以外の分類に関しては、小田が書架を通覧して古地図の発見に努めたが、なお遺漏があるかもしれない。

次に、確認された古地図について簡単にまとめておきたい。古地図の点数は全部で79点になるが、No.19やNo.44のように、複数の地図のセットになっているものがあるため、実際の枚数は100枚以上になる。

受入時期を見ると（表1参照）、昭和4年4月、本学に専門部（高等師範部）地理歴史科が設置された⁷⁾こともあってか、おそらく大正期から昭和21年までに50点の地図の購入・寄贈がされている。ただし、その半数以上の31点は、同時代と言える大正・昭和戦前期の地図であり⁸⁾、意識的に古地図を収集しようとしたものではない。大正・昭和戦前期の地図は軸装のもの（一枚物の地図をあらためて軸装したものを含む）が17点と多く、それらの「古地図」が掛地図として教育用に利用された（されようとした）ことをよく物語っている。軸装されている地図は、歴史地図・アジア地図・世界地図・日本地図などである。その他に変わったものとしては、（財）南方資料館から昭和18年に寄贈された東南アジア各地の4点の地図がある。明治期の地図は1点しかなく、そのかわりに江戸期のものが18点あるが、このうち13点は「内裏図・京絵図」（663-17）として昭和19年に一括して購入されたものである。これを除けば、戦前には江戸期そして明治期の地図は、ほとんど所蔵されていなかったと言える。

戦後はしばらく古地図の受入はなかったが、昭和53年に江戸期・明治前期の地図が、まとまった数（20点）購入され⁹⁾、その後数年間も、数点の古地図が購入・寄贈されている¹⁰⁾。これによって、駒澤大学図書館所蔵の古地図のバリエーションは多少広がっている。戦後の古地図収集の特徴は、表1を見てもわかるように、江戸・明治期のものが中心であることである。特に明治期の地図は戦前にはほとんど所蔵されていなかっただけに、その欠を埋めるかたちになっている。これに対して、大正・昭和戦前期の地図数はあまり増加していないが、これは、この時期の地図に対する価値観や古地図市場の問題も関係してこよう。

最後に、研究会に参加し、ともに古地図を熟覧してくれた上記学生諸氏に感謝の念を表しておきたい。研究会という場が存在しなければ、本稿も成り立ちえなかったであろう。ただし、この前言をはじめとして、本稿のすべての文責は小田にある。

注

- 1) これら以外に除外したものとして、「東洋歴史掛図」、「西洋歴史掛図」の2つのシリーズの掛地図、洋書分類と特殊文庫に含まれる20世紀前半の数点あるいは数十点の外国地形図がある。
- 2) 色図にも、色刷りと後からの彩色の両方の場合があるが、区別はしていない。
- 3) 図枠でなく紙の大きさである。軸物の多くは、調査時間が足りず大きさを測定していない。
- 4) 注記したもの以外はすべてKDC（駒澤大学和漢書分類）閉架図書の番号である。
- 5) 裏打ちの有無には言及していない。
- 6) 一般に図書館の目録記述では、図書の大きさは、センチメートルより下の端数を切り上げるが、本目録では四捨五入している。
- 7) 多田文男「駒澤大学地理学科の生い立ち」、駒澤地理14, 1978, 1-27頁。
- 8) ただし、数点の歴史地図を含む。
- 9) No.2, 3, 4, 5, 11, 12, 14, 15, 17, 21, 22, 33, 34, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 43の20点である。
- 10) No.18, 29, 31, 35, 44, 60がそうである。

表1 駒澤大学図書館所蔵古地図の受入時期

古地図番号	受入時期		古地図番号	受入時期	
	戦前	戦後		戦前	戦後
江戸期			41		○
1	○		42	○	
2		○	43		○
3		○	44		○
4		○	大正期		
5		○	45	◎	
6	○		46	◎	
7	○		47	◎	
8	○		48	◎	
9	○		昭和戦前期		
10	○		49		○
11		○	50	○	
12		○	51	◎	
13	○		52	○	
14		○	53	◎	
15		○	54	◎	
16	○		55	◎	
17		○	56		○
18		○	57	○	
19	○		58	○	
20	○		59	○	
21		○	60		○
22		○	61		○
23	○		62	◎	
24	○		63	◎	
25	○		64	○	
26	○		65	○	
27	○		66	◎	
28	○		67	○	
29		○	68	◎	
30	○		69	◎	
31		○	70	◎	
32	○		71	◎	
明治期			72	◎	
33		○	73	○	
34		○	74	○	
35		○	75	○	
36		○	76	○	
37		○	77	○	
38		○	78	○	
39		○	79	◎	
40		○			

- 1) ◎は軸装のもの。
- 2) 古地図番号はリストに対応する。
- 3) No.78は昭和21年の受入だが、便宜的に戦前に含めた。

駒澤大学図書館所蔵古地図目録

1. 「江戸絵図」 欠年 版・無彩 89×119cm 610.6-3 *封筒入り
*明暦大火以前の江戸絵図を後(近世か)に復刊したもの。
*絵図にタイトルなく、タイトルは目録カードによる。
 2. 「南瞻部洲万国掌菓之図」(内題) 浪華子 永田調兵衛蔵版 宝永7年(1710) 版・無彩
114×143cm 671-3 *帙入(後補)
 3. 「日本道中行程記」(内題) 菊岡南仙斎編 江戸：万屋清兵衛版 享保9年(1724) 版・無彩
14×381cm 666-63 *帙入(後補)
*九州より北海道までの日本全国道中図。
*卷子本仕立てになっているが、本来は折本だったと思われる。上記の大きさは、折本として広げた時のもの。
 4. 「大日本国全備図」(題簽) 欠年 版・色 62×110cm 663-99 *帙入(後補)
*貼付の古書目録切り抜きには享保頃とある。
 5. 「分間江戸大絵図」(題簽) 須原屋茂兵衛板 安永4年(1775) 版・色 125×172cm(下部に22×80cmの貼り足し部分あり) 667.1-97 *帙入(後補)
 6. 「改正日本輿地路程全図」(題簽後補)(内題：新刻日本輿地路程全図) 長玄珠子王父〔小田注：長久保玄珠(子玉, 赤水)〕 欠年 版・無彩 82×126cm(裏打ち部分を除いた大きさ)
663-8 *駒大封筒入り
*安永4年(1775)の柴邦彦〔小田注：柴野栗山〕の序あり。
- ※以下No. 7, 8, 9, 10, 16, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 30, 32の13枚は、「内裏図・京絵図」(663-17)としてまとめて整理されている。
*寛政3年～慶応2年(1791～1866) *紙箱入(後補)
7. 「山城分間絵図」(題簽) 欠年 写・色 98×184cm 663-17-12
*安永7年(1778)版絵図の写図 *「松田正房所持」の注記あり
 8. 「内裏図」(題簽後補) 林吉永 寛政3年(1791)(再刻) 版・無彩 48×59cm 663-17-1
 9. 「寛政京絵図」(袋題後補) 野田藤八 寛政年間(1789-1801) 版・色 51×41cm 663-17-3
*古書店の封筒入り
 10. 「改正京絵図」(題簽) 丸屋善兵衛 版・無彩 62×52cm 663-17-5
*題簽に「文化～安政」の書き込みあり
 11. 「嶋蘭新訳地球全図」(題簽・内題) 橋本直政伯敏氏〔小田注：橋本宗吉〕(製) 錢希明子遠甫(校) 小川太左衛門・北沢伊八・浅野弥兵衛・岡田新次郎 寛政8年(1796) 版・色
54×93cm 654-31 *帙入り(後補)
 12. 「大日本国図並東海道中仙道中絵図」(題簽後補)(半分の図の内題：大日本国図) えづ屋庄八 文政6年(1823) 版・無彩 61×67cm 663-98 *帙入(後補)
 13. 「改正御江戸絵図」(題簽) 和泉屋庄次郎・英大助 天保2年(1831) 版・無彩 72×71cm
663-P16 *駒大封筒入り
*「真言教師杉島景□」の印あり
 14. 「京大和伊勢廻名所道程絵図(仮題)」(題簽後補) 奈良：えづ屋庄八 天保2年(1831)(改) 版・色 61×67cm 667.4-71 *帙入(後補)
*西国三十三所巡礼路に彩色

15. 「天保再鑄改正日本図」(題簽後補) 松村九兵衛・柳原喜兵衛・吉田善藏・赤松九兵衛・浅野弥兵衛・橋本徳兵衛 文化8年(1811)(御免) 天保8年(1837)(再刻) 版・色 44×55cm 663-96 * 帙入(後補)
16. 「天保改正新增細見京絵図大全」(題簽,「天保改正」は後の書き込み) 池田東籬亭主人考正中村有楽斎画 竹原好兵衛板 欠年 版・色 72×105cm 663-17-9
17. 「東都近郊図」(題簽) 仲田惟善著 文政13年(1830)(改正) 版・色 60×76cm 667.1-98 * 帙入(後補)
* 「黒羽藩大沼蔵」の印あり
18. 「清二京十八省輿地全図」(題簽) 東條耕〔小田注:東條琴台〕 嘉永元年(1848) 版・色 33×23cm(折本をたたんだ大きさ) 671.1-108 * 木箱入り

※以下No.19-1~No.19-28の28枚は、「江戸〔切〕絵図」(仮題)(663-11-28)としてまとめて整理されている。

* 嘉永2年~5年(1849~1852) 版・色 各45×64cm * 木箱入り

* 各絵図の裏面に「三拾壱冊之内」との墨書があるが、28枚のみ所在。

- 19-1. 「御大名小路辰之口辺図」(題簽)(内題:なし) 高柴三雄 近吾堂 嘉永2年(1849) 663-11-1
- 19-2. 「懐中永田町絵図」(題簽)(内題:永田町絵図) 高柴三雄 近江屋吾平 嘉永2年(1849)(再改) 663-11-2
- 19-3. 「改正懐中番町絵図」(題簽)(内題:番町絵図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永4年(1851)(双改) 663-11-3
- 19-4. 「改正懐中駿河台小川町図」(題簽)(内題:駿河台小川町図) 高柴三雄 近吾堂 嘉永2年(1849)(再改) 663-11-4
- 19-5. 「日本橋神田從於玉池矢ノ倉辺絵図」(題簽)(内題:日本橋北神田辺之絵図) 高柴三雄 近江屋吾平 嘉永3年(1850)(双改) 663-11-5
- 19-6. 「日本橋南柴口辺地図」(題簽)(内題:日本橋南柴口橋迄八町堀霊岸島等地区辺絵図) 高柴三雄 近江屋吾平 嘉永3年(1850)(改正) 663-11-6
- 19-7. 「改正愛宕下西ノ久保辺図」(題簽)(内題:芝愛宕下西ノ久保辺絵図) 高柴三雄 近江屋吾平 嘉永2年(1849)(再改) 663-11-7
- 19-8. 「改正高輪白金辺図」(題簽)(内題:本芝高輪白金三田辺之絵図) 高柴三雄 近吾堂 嘉永2年(1849)(改) 663-11-8
- 19-9. 「麻布広尾辺図」(題簽)(内題:麻布広尾辺絵図) 高柴三雄 近吾堂 嘉永2年(1849)(改) 663-11-9
- 19-10. 「改正青山長者丸辺図」(題簽)(内題:青山長者丸辺之図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永4年(1851) 663-11-10
- 19-11. 「赤坂今井辺図」(題簽)(内題:赤坂今井一ツ木辺之絵図) 高柴三雄 近吾堂 嘉永2年(1849)(改) 663-11-11
- 19-12. 「改正内藤新宿新屋敷代々木辺図」(題簽)(内題:内藤新宿新屋敷辺之図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永4年(1851)(改正) 663-11-12
- 19-13. 「四ッ谷千駄ヶ谷辺図」(題簽)(内題:四ッ谷千駄ヶ谷内藤新宿辺絵図) 高柴三雄 近吾堂 嘉永2年(1849)(改) 663-11-13
- 19-14. 「牛込市ヶ谷御門外地図」(題簽)(内題:牛込市ヶ谷御門外原町辺絵図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永4年(1851)(再板) 663-11-14
- 19-15. 「本郷谷中小石川駒込図」(題簽)(内題:谷中本郷駒込小石川辺絵図) 高柴三雄 近江屋吾

- 平 嘉永3年(1850)(双再改) 663-11-15
- 19-16.「改正駒込巢鴨辺図」(題簽)(内題:駒込巢鴨辺之絵図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永5年(1852)(新刻) 663-11-16
- 19-17.「改正白山駒込辺図」(題簽)(内題:白山駒込辺之絵図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永5年(1852)(新刻) 663-11-17
- 19-18.「改正小石川辺図」(題簽)(内題:小石川辺図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永5年(1852)(改) 663-11-18
- 19-19.「上水北小日向小石川辺図」(題簽)(内題:上水北小日向小石川辺絵図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永5年(1852)(新刻) 663-11-19
- 19-20.「小日向小石川牛込地図」(題簽)(内題:小日向小石川牛込絵図) 高柴三雄 近吾堂 嘉永2年(1849)(改) 663-11-20
- 19-21.「改正雑司ヶ谷音羽辺図」(題簽)(内題:音羽目白雑司ヶ谷辺絵図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永4年(1851)(新刻) 663-11-21
- 19-22.「外神田下谷上野辺絵図」(題簽)(内題:上野下谷外神田辺絵図) 高柴三雄 近江屋吾平 嘉永3年(1850)(改正) 663-11-22
- 19-23.「下谷浅草箕輪山谷辺図」(題簽)(内題:下谷三ノ輪浅草三谷辺之絵図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永3年(1850) 663-11-23
- 19-24.「浅草鳥越堀田原図」(題簽)(内題:浅草鳥越堀田原辺絵図) 村上吾雄 近江屋吾平 嘉永3年(1850)(改) 663-11-24
- 19-25.「深川之内 小名木川ヨリ南之方一円」(題簽)(内題:改正深川之内 小名木川ヨリ南之方一円) 近吾堂 嘉永3年(1850)(改) 663-11-25
- 19-26.「改正渋谷宮益辺図」(題簽)(内題:渋谷宮益金王辺図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永4年(1851)(新刻) 663-11-26
- 19-27.「改正大久保外山辺図」(題簽)(内題:大久保戸山高田辺之図) 村上吾雄 近吾堂 嘉永4年(1851)(新刻) 663-11-27
- 19-28.「巢鴨染井王子辺図」(題簽)(内題:題簽と同じ) 村上吾雄 近吾堂 嘉永5年(1852)(新刻) 663-11-28
- 20.「改正蝦夷全図」(題簽・内題) 豊島毅〔小田注:豊島洞斎(号は静脩)〕 山城屋佐兵衛・播磨屋勝五郎 嘉永7年(1854) 版・色 57×45cm 663-P7 *駒大封筒入り
*仙台の玉虫義題〔小田注:玉虫誼茂(通称は左太夫)か〕の序あり。
- 21.「嘉永校定東西地球万国全図」 阿部喜任〔小田注:阿部櫨斎〕 栗原信晃(再校) 丁子屋平兵衛 嘉永年間(1848~1854) 版・色 64×65cm 654-33 *帙入(後補)
*天保9年(1838)の阿部の序があり,天保6年(1835)にフランスで出された地図を校訂したものと記される。
- 22.「□府郷御江戸絵図」(題簽) 高柴三雄撰 須原屋茂兵衛ほか 版・色 98×104cm 667.1-99
*帙入(後補)
*図名最初の不明部分は,貼付の古書店目録には「嘉永改正」とある。
- 23.「改正京絵図」(題簽) 丸屋善三郎 版・無彩 31×46cm 663-17-4
*題簽に「嘉永～」の書き込みあり
- 24.「文久改正京都指掌図」(題簽) 竹原好兵衛 文久2年(1862)(再版) 版・無彩 50×70cm 663-17-7
- 25.「内裏図」(題簽) 池田奉膳 文久3年(1863) 版・色 36×51cm 663-17-2
- 26.「文久改正新選京絵図」(題簽) 竹原好兵衛 文久3年(1863)(三刻) 版・色 51×70cm 663-17-6

27. 「文久改正京都指掌」(題簽,「都指掌」は後の書き込み) 竹原好兵衛 文久3年(1863)(三刻)
版・無彩 51×70cm 663-17-8
28. 「新增細見京絵図大全」(題簽) 竹原好兵衛 天保5年(1834)開板 元治元年(1864)再板
版・色 72×102cm 663-17-10
29. 「□国地図」(題簽後補) 玄々堂緑山(著述銅鑄) 京都:村上勘兵衛ほか 元治2年(1865)
(刻成) 版・無彩 17×21cm(折本をたたんだ大きさ) 663-102 * 帙入(後補)
* 目録カードには「[(銅鑄)大日本国細図]」と題される。
* 改装したものか。
30. 「洛中洛外町々小名 大成京細見絵図」(題簽) 平安舎 慶応2年(1866)(改板) 版・色
90×59cm(さらに11×48cmの貼り足し部分あり) 663-17-11

※以下No.31-1~No.31-4の4枚は、「官板実測日本地図」(663-122)(貴重書)としてまとめて整理されている。 * 帙入(後補)
* 目録カードには、伊能忠敬実測, 高橋景保編, 開成所補図, 慶応3年(1867)とされるが, 地図に注記なし。

- 31-1. 「官板実測日本地図 蝦夷諸島」(題簽)(内題: 蝦夷諸島) 版・色 158×200cm 663-122-1
* 北海道の部分(北緯41度~47度の間)
- 31-2. 「官板実測日本地図 北蝦夷」(題簽)(内題: 北蝦夷) 版・色 208×83cm 663-122-2
* 北緯47度以北のサハリン
- 31-3. 「官板実測日本地図 畿内 東海 東山 北陸」(題簽) 版・色 228×156cm 663-122-3
* 近畿地方以東の本州(京都を中度として西一度以東)
* 挿図に「小笠原群島総図」あり * 凡例あり
- 31-4. 「官板実測日本地図 山陰 山陽 南海 西海」(題簽) 版・色 195×143cm 663-122-4
* 中国・四国・九州地方(西一度以西)
* 挿図に「琉球諸島総図」あり
32. 「京都古地図」(タイトル・台紙後補) 欠年 版・色 50×38cm 663-17-13
33. 「官板実測日本地図 北蝦夷」(題簽) 欠年 版・色 204×83cm 667.7-12 * 帙入(後補)
* 貼付の古書店目録には「大学南校版木版」, 「明治3年」とある。
* 北緯47度以北のサハリンを描く。No.31-2と同内容。
34. 「銅鑄万国輿地全図」(題簽・帙題)(内題: 万国輿地全図) 桜池寒生 博慣堂 明治6年
(1873) 版・色 65×62cm 654-32 * 帙入(原帙と後補の帙の両方)

※以下No.35-1~No.35-8の8枚は、「大日本分国輿地全図」(題簽・内題)(663-115)としてまとめて整理されている。 * それぞれ駒大封筒入り
* 宮脇通赫著 山中市兵衛出版 明治10年(1877) 版・色
* いずれにも「東京府第式中学校」の印と同校の「消印」あり。

- 35-1. 「大日本分国輿地全図 第壹幅」 130×96cm 663-115-1
* 武蔵・上総・下総・安房・相模・伊豆・駿河・甲斐・上野・下野・常陸
- 35-2. 「大日本分国輿地全図 第貳幅」 138×77cm 663-115-2
* 伊賀・伊勢・志摩・尾張・三河・遠江・美濃・飛騨・越前・加賀・能登・越中
- 35-3. 「大日本分国輿地全図 第三幅」 114×99cm(左下に48×32cmの貼り足し部分あり)
663-115-3

- * 山城・大和・河内・和泉・摂津・紀伊・淡路・阿波・讃岐・土佐・播磨・備前・近江・若狭・丹波・丹後・但馬
- 35-4. 「大日本分国輿地全図 第四幅」 93×121cm 663-115-4
 - * 美作・備中・備後・安芸・周防・長門・因幡・伯耆・出雲・石見・隠岐・伊予
- 35-5. 「大日本分国輿地全図 第五幅」 172×99cm (左側に33×18cmの貼り足し部分あり) 663-115-5
 - * 豊前・豊後・筑前・筑後・肥前・肥後・日向・大隅・薩摩・壹岐・対馬
- 35-6. 「大日本分国輿地全図 第六幅」 140×74cm 663-115-6
 - * 岩代・越後・信濃・佐渡
- 35-7. 「大日本分国輿地全図 第七幅」 183×77cm 663-115-7
 - * 磐城・陸前・陸中・陸奥・羽前・羽後
- 35-8. 「大日本分国輿地全図 第八幅」 102×157cm 663-115-8
 - * 渡島・後志・石狩・天塩・北見・胆振・日高・十勝・釧路・根室・千島
 - * 「松浦武四郎閣」の文言あり
- 36. 「磐城岩代越後信濃上野下野常陸里程図」(題簽) 陸軍参謀局 明治10年(1877) 版・無彩 101×146cm (上部に17×26cmの貼り足し部分あり) 663-97 * 帙入(後補) * 21万6千分の1
- 37. 「千葉県治全図」(題簽・内題) 小沢直人著 乙亥舎(売払所) 明治10年(1877) 版・無彩 74×100cm 667.1-95 * 帙入(後補) * 16万2千分の1
- 38. 「大日本予察地形図 東北部」(題簽・内題) 農商務省地質調査所 明治17年(1884) 版・色 114×77cm 663-100 * 帙入(後補) * 40万分の1
 - * 「農商務省蔵版」の印あり
- 39. 「群馬県管内上野国全図」(題簽・内題) 群馬県蔵版 東京製図会社銅刻 明治17年(1884) 版・無彩 96×107cm 667.1-96 * 帙入(後補) * 12万分の1
- 40. 「茨城県管内里程略図」(題簽・内題) 茨城県 三田印刷所 明治17年(1884) 版・無彩 87×103cm 667.1-92 * 帙入(後補)
 - * 裏表紙に「明治十八年五月大吉日求之ヲ 岩代伊達梁川 高橋音七」の墨書あり。
- 41. 「改正北海道全図」(題簽・内題) 高橋不二雄 内務省地理局 東京：博聞舎(発兌) 明治20年(1887) 版・無彩 136×179cm 667.7-11 * 帙入(後補) * 50万分の1
 - * 高橋不二雄(作成者)の自序あり。
- 42. 「岩手県磐井郡輿地図」(題簽)(内題：岩手県磐井郡之真図) 鈴木芳朝 明治21年(1888) 頃 写・色 54×76cm 663-P14 * 駒大封筒入り
- 43. 「絵入名所改正横浜新図」(内題) 杉浦留吉著作兼発行 山中善三郎彫刻兼印刷 明治24年(1891) 版・色 37×50cm 667.1-93 * 帙入(後補)
 - * 裏面に「横浜伊勢佐木町壺丁目七 倉田屋」の印あり。
- ※以下No.44-1～No.44-13の13枚は、「東京市全図」(仮題)(663-118)としてまとめて整理されている。
 - * 東京郵便電信局 明治28年～32年(1895～1899) 版・色
 - * それぞれ帙入 * 5000分の1
 - * 第八と第十(牛込区と下谷区)は欠。
- 44-1. 「東京市日本橋区全図」(帙題・内題) 明治28年(1895) 59×62cm 663-118-1
 - * 「拾五区之内第壺」 * 明治28年7月調査
- 44-2. 「東京市神田区全図」(帙題・内題) 明治28年(1895) 59×63cm 663-118-2

- * 「拾五区之内第貳」 * 明治28年7月調査
- 44-3. 「東京市京橋区全図」(帙題・内題) 明治28年(1895) 73×75cm 663-118-3
 - * 「拾五区之内第三」 * 明治28年7月調査
- 44-4. 「東京市麹町区全図」(帙題・内題) 明治29年(1896) 77×86cm 663-118-4
 - * 「拾五区之内第四」 * 明治28年7月調査
- 44-5. 「東京市四谷区全図」(帙題・内題) 明治29年(1896) 52×64cm 663-118-5
 - * 「拾五区之内第五」 * 明治28年12月調査
- 44-6. 「東京市赤坂区全図」(帙題・内題) 明治29年(1896) 67×75cm 663-118-6
 - * 「拾五区之内第六」 * 明治28年12月調査
- 44-7. 「東京市麻布区全図」(帙題・内題) 明治29年(1896) 69×71cm 663-118-7
 - * 「拾五区之内第七」 * 明治29年1月調査
- 44-8. 「東京市本郷区全図」(帙題・内題) 明治29年(1896) 66×99cm 663-118-9
 - * 「拾五区之内第九」 * 明治29年5月調査
- 44-9. 「東京市小石川区全図」(帙題・内題) 明治29年(1896) 71×86cm 663-118-11
 - * 「拾五区之内第十壹」 * 明治29年10月調査
- 44-10. 「東京市芝区全図」(帙題・内題) 明治29年(1896) 74×120cm 663-118-12
 - * 「拾五区之内第十貳」 * 明治29年12月調査
 - * 明治29年9月発行とあるが、その後の再版か。
- 44-11. 「東京市浅草区全図」(帙題・内題) 明治30年(1897) 明治31年(1898)再版 75×96cm
663-118-13
 - * 「拾五区之内第十三」 * 明治30年2月調査
- 44-12. 「東京市本所区全図」(帙題・内題) 明治29年(1896) 明治32年(1899)再版 76×102cm
663-118-14
 - * 「拾五区之内第十四」 * 明治30年5月調査
- 44-13. 「東京市深川区全図」(帙題・内題) 明治31年(1898) 75×100cm 663-118-15
 - * 「拾五区之内第十五」 * 明治30年11月調査

- 45. 「京都付近図」(軸題) 陸地測量部 大正6年(1917)頃 版・無彩 軸-15 * 軸装
 - * 5万分の1地形図「京都東北部」,「京都東南部」,「京都西北部」(大正5年発行),「京都西南部」(大正6年発行)の4枚を貼り合わせ軸装したもの。
- 46. 「満蒙西比利地図」(内題・軸題) 大連:南満州鉄道 大正12年(1923) 版・色 軸-21
 - * 軸装 * 200万分の1
 - * 南満州鉄道(株)社長室調査課の凡例あり。大正6年の満蒙現勢図を校訂したもので、調査課員の越山宣勝の編製という。
- 47. 「印度仏教史地図」(内題・軸題) 大塩毒山 東京:大雄閣 大正13年(1924) 版・色 軸-8
 - * 軸装 * 405万5040分の1
 - * 校閲者6名の中に山崎直方の名あり。
- 48. 「支那仏教史地図」(内題・軸題) 大塩毒山 東京:大雄閣 大正13年(1924) 版・色 軸-10
 - * 軸装 * 200万分の1
 - * 校閲者3名の中に山崎直方の名あり。
 - * 「支那仏教史地図索引」が付属する。
- 49. 「択捉島 漁場明細図」(内題) 北海石版活版所印行 欠年(昭和初期か) 版・色 62×93cm
啓195(目録カード記載の資料名は「千島列島ノ湖沼調査」) * 30万分の1
 - * 「ふ化場」,「保護等級」の記載,主要地点間の里程表あり。
 - * 田中阿歌麿・宮地伝三郎他4名から啓明会宛の「千島列島ノ湖沼調査ノ件願」(昭和7年5月1

日付け)など、千島列島湖沼調査関係の一件資料のひとつ。

50. 「東亜大陸図」(内題・袋題)(4枚1組) 陸地測量部編・発行 昭和2年(1927) 版・色
各105×77cm 654-11 *原封筒入り *250万分の1
* 中国大陸の地図
51. “Map of Ancient India”(内題)(軸題:古代印度地図) 欠年 版・無彩 軸-12 *軸装
*記載はすべて英語
*specially prepared for Nundo Lal Dey's Geographical Dictionary of Ancient and
Mediaeval Indiaとある。同書は1899年に初版,1927年に第2版が出ており,第2版の付図か。
52. 「江戸実測図」(筒題)(20枚1組) 東京市役所編・発行 昭和3年(1928) 版・色 軸-32
*軸物扱いだが,地図を丸めて筒に入れてあるだけ。筒は本来のもの。
*伊能忠敬測量の図のカラー復刻版。
*東京市史稿市街篇附図第三か。
53. 「江戸大絵図」(内題・軸題) 内藤宗吉(著作) 神奈川県中郡:江戸大絵図発行所 昭和4年
(1929) 版・色 105×114cm 軸-14 *軸装
*近世の江戸の復原絵図
54. 「明治維新幕末列藩図」(内題) 明治維新史料編纂会・楨重憲編 時事連合通信社出版部 昭和
4年(1929) 版・色 軸-30 *軸装(さらに筒入り)
55. 「東亜大陸図」(内題) 陸地測量部 欠年 版・色 地歴研-1-1軸 *軸装 *250万分の1
*4枚の地図を貼り合わせ軸装したもの。 *No.50と同一。
*目録カードには昭和4年(1929)とある。
56. 「濃美治水図 附輪中分布」 昭和4年(1929)頃 148×91cm 啓194
*5万分の1地形図8枚(現在の美濃・岐阜・名古屋北部・名古屋南部・谷汲・大垣・津島・桑名
の図幅)を貼り合わせたうえに,輪中の分布や旧河道を色で書き込んだもの。
*封筒入り(差出人:岐阜市外西加納町四丁目 岡村精次,宛先:東京丸ノ内海上ビルディング五
階 啓明会,4年10月26日付けの消印あり)。
57. 「五万分一白馬嶽及立山近傍図(五色刷)」(外題)(内題:白馬嶽及立山近傍) 陸地測量部 大
正元年測図 昭和4年部分修正測図 昭和5年(1930)発行 版・色 105×74cm 663-P5
*駒大封筒入り
*「五万分一山岳図」
58. 「五万分一槍ヶ嶽及乗鞍嶽近傍図(五色刷)」(外題)(内題:槍ヶ嶽及乗鞍嶽近傍) 陸地測量部
大正元年測図 昭和4年部分修正測図 昭和5年(1930)発行 版・色 105×74cm 663-P6 *
駒大封筒入り
*「五万分一山岳図」
59. 「東海道沿線旅行案内図」(外題) 三省堂旅行案内内部編 三省堂 昭和5年(1930) 版・色
19×241cm(折本を広げた大きさ) 663-P12 *駒大封筒入り
60. 「日本交通分県地図其38鹿児島県及沖縄県」(内題) 大阪毎日新聞社 昭和5年(1930) 版・
色 54×78cm 663-141 *駒大封筒入り *鹿児島県:60万分の1,沖縄県:40万分の1
*大阪毎日新聞16877号付録
61. 「東京府荏原郡駒沢町」(内題) 駒沢町役場 昭和5年(1930) 版・無彩 78×109cm
291.3-72(NDC和装書架) *駒大封筒入り *5000分の1
62. “The Osaka Shosen Kaisha Track Chart”(内題)(軸題:大阪商船会社航路図) 昭和5年
(1930) 版・色 軸-19 *軸装
*基図は世界地図 *記載はすべて英語
63. 「大東京全図」(内題・軸題) 報知新聞社編・発行 昭和7年(1932) 版・色 144×149cm
軸-20 *軸装 *2万5千分の1

- * 東部・中央部・南部・北部・西部・西南部の6枚を貼り合わせ軸装したもの。
- * 大東京実施記念 * 報知新聞付録
- 64. 「大日本全図」(内題・軸題)(2枚1組) 中島貫一(作図) 下田禮佐(監修) 改造社 昭和7年(1932) 版・色 軸-13 * 軸物扱いだが、地図を丸めてあるだけ。 * 150万分の1
- 65. 「最新世界交通大地図」(内題)(袋題:最近世界交通大地図) 東京:時事新報社(発行) 昭和7年(1932) 版・色 79×109cm 654-6 * 原封筒入り
 - * 時事新報新年特別付録(17445号付録)
- 66. 「最新世界大地図」(内題) 森芳雄(作図) 小川琢治(校閲) 新光社編集部編 新光社 昭和7年(1932) 版・色 地歴研-7 * 軸装 * 赤道面の縮尺:2700万分の1
- 67. 「日本対外通商地図」(内題・軸題) 外務省通商局編 昭和8年(1933) 版・色 79×145cm 軸-9 * 軸物扱いだが、地図を丸めてあるだけ。
 - * 各国との輸出入を示した主題図
- 68. 「最新日満大地図」(内題・軸題) 碧海康温(校閲) 東京朝日新聞社 昭和9年(1934) 版・色 軸-16 * 軸装 * 140万分の1(満州国は450万分の1)
 - * 東京朝日新聞第17132号付録
- 69. 「最新日本大地図」(内題・軸題・箱題) 森芳雄(製図) 小川琢治(校閲) 誠文堂新光社編集部編 誠文堂新光社 昭和12年(1937) 版・色 軸-31 * 軸装(さらに紙箱入り) * 120万分の1
 - * 昭和12年, 脇水鉄五郎氏から寄贈されたもの。
 - * 誠文堂創業二十五周年記念
- 70. 「ソヴェート連邦(満・蒙・北支)大地図」(軸題・袋題)(内題:ソヴェート連邦大地図) 東京:日露通信社 昭和12年(1937) 版・色 軸-22 * 軸装 * 600万分の1
- 71. 「日本隣邦関係図」(内題) 石川真琴著 東京教材出版社 欠年 版・色 請求番号不明 * 軸装 * 2100万分の1
 - * 太平洋をはさみ, インドからアメリカ大陸までの地図。
 - * 軍事関係の記載が多い。
 - * 東京市滝野川区とあるところから, 昭和7年~昭和18年(1932~1943)の間の地図。
- 72. 「興亜現勢詳図」(内題・軸題) 東京文教社著・発行 欠年 版・色 軸-24 * 軸装 * 500万分の1
 - * 日本からアフガニスタン付近までのアジア地図。
 - * 目録カードには昭和15年(1940)頃とある。
- 73. 「海南島全図」(内題) 台湾総督府内務局土木課(著作) 台北:(財)南方資料館(発行) 昭和17年(1942) 版・色 52×64cm 654-2 * 駒大封筒入り * 50万分の1
- 74. 「ジャバ島全図」(内題・袋題)(2枚1組) 台湾総督府外事部(翻案・編纂) 台北:(財)南方資料館(発行) 昭和17年(1942) 版・色 各63×93cm 654-7 * 原封筒入り * 75万分の1
 - * 東部と西部の2枚セット。
 - * 台湾総督府外事部調査第33(南方地図第5)の注記あり。
- 75. 「スマトラ島全図」(内題)(2枚1組) 台湾総督府外事部(翻案・編纂) 台北:(財)南方資料館(発行) 昭和17年(1942) 版・色 西部:99×55cm 東部99×56cm 654-8 * 150万分の1 * 南方資料館の封筒入り
- 76. 「印度緬甸要図」(内題・袋題) 台湾総督府外事部(翻案・編纂) 台北:(財)南方資料館(発行) 昭和17年(1942) 版・色 76×98cm 654-9 * 原封筒入り * 500万分の1
 - * インド・ビルマ方面の地図
- 77. 「西南太平洋精図」(内題) 朝日新聞社編・発行 昭和19年(1944) 版・色 76×106cm

654-13 *封筒入り

78. 「戦災焼失区域表示帝都近傍図」(外題・内題) 植野録夫 日本地図 昭和20年(1945) 版・色 76×108cm 663-P18 *駒大封筒入り *4万分の1

79. 「渡天交通図」(内題・軸題) 欠年 版・無彩 軸-11 *軸装

*「那珂博士未定稿」とある。那珂通世(1851-1908)か。

*玄奘・法顕らの行程の記載あり。

※目録カードにはあるが、現物を確認していないもの

・「大日本全図(二百万分ノ一)」 陸地測量部編 昭和2年(1927) 地歴研-2-1軸

・「(六拾万分一)北海道詳図」 中村信以 札幌 昭和4年(1929)(3版) 地歴研-4-1軸

・「式拾万分一帝国図」 欠年 地歴研-3-7軸

Old Maps in Komazawa University Library

Masayasu ODA*

This paper shows the list of old maps in Komazawa University Library. It covers the sheet maps printed or painted by hand before 1945. Atlases, geological maps, and most of the topographical maps are not included.

The number of the old maps found in the Library amounts to seventy-nine. Fifty maps were accessioned by 1946. However, more than half of them appeared between 1912 and 1945. That is, they were not old maps but contemporary ones in those days. We can also notice seventeen wall maps among the maps printed before 1945, which were probably intended to be used in the classroom.

After the Second World War, the accession of old maps stopped for a long time. In 1978, twenty maps in Edo and Meiji period (17th century to 1912) were purchased, and still during some following years several sheets were bought and donated. The collection after 1945 was centered around maps in Edo and Meiji period. As a result, the variation of the old maps became abundant to some extent.